

事業目的：

「環境用水としての機能をはたせる二ヶ領用水」を目指すに関し、大きな一歩を踏み出すことが出来た。

事業概要：

マジックハンドを駆使したクリーンアップ作戦は、毎月2回の定例日、高津区中心であったが、多摩区・中原区・幸区においても実施、2007・3末現在集計で19回（他に7回雨天中止）延べ219人が参加した。（マジックハンド清掃は、2005・12開始以来28回、中止9回、282名参加）また、地域ボランティアへの浸透も進み、40名が都合に合わせて参加され、地域との協働の素地が出来上がった。

周辺市民の方々の美化活動参加には及ばなかったが、「とみに綺麗になった！」の声は高まっている。

夏休み親子学習では、親子10名が水質調査・マジックハンド清掃に参加され、発表会の風景が神奈川新聞にも掲載された。

ダストカート購入でゴミ運搬に大きな進展を得た。

パックテスト試薬による水質調査は、定点・定時の調査を毎月第3日曜日実施し、会員の検査能力もレベルアップした。

また、二ヶ領用水全域の水質調査も定期的にも実施、中野島取水口、宿河原取水口から、鹿島田までの調査を終えた。

環境デーに実施の全国一斉水質調査には、今年も参加した。

二ヶ領用水への生活排水の流入に関しては、6月に4名が全域を分担して観察した結果、約100箇所気になる流入が確認された。

今後は、流入マップ作りに、更なる要員確保と経済支援を得て進めたい。

竹炭による「二ヶ領用水浄化活動」は、建設センター・健康の森との協働作業が前進し、大きな成果を挙げた。円筒分水から川崎堀への水の落とし口に設置の大型浄化設備が特筆ものである。